

Title	「法學研究」復活以来の總目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1949
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.22, No.1 (1949. 1) ,p.62- 65
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19490101-0062">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19490101-0062</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 「法學研究」復活以來の總目次

復活一號	二二 十 號卷	三二 十 號卷	一二 十一 號卷	二二 十一 號卷	三二 十一 號卷
種目	論	論	論	論	論
執筆著者	小池隆一	峰村光郎	勝本正文夫	内山正熊	伊藤政寛
題名	復刊の辭 民法改正に就て 法の本質的性格について ——法の人間學的考察序説—— 物權の變動について(上) 國際政治に於ける國家の問題 フランス新刊書目 一人會社について(一) 物權の變動について(下) ネルチンスク條約について 米國證據法の基本的特質(一) ——わが國と比照して—— 現代に於ける行政の特徵 米國證據法の基本的特質(二・完) ——わが國と比照して—— 英國海法の起源 フランス王制				
小池隆一	峰村光郎	勝本正文夫	内山正熊	伊藤政寛	津田利治
論	論	論	論	論	論
二二 十 號卷	二二 十一 號卷	三二 十 號卷	一二 十一 號卷	二二 十一 號卷	三二 十一 號卷
復活一號					

八二十一 號卷	七二十一 號卷	六二十一 號卷	五二十一 號卷	四二十一 號卷
論 載	報 告	紹介と批評	論 說	論 說
米山桂三	伊東乾	社會法研究會	高島正夫	内山正熊
			中村菊男	手塚豐
			手塚豐(附題)	手塚豐
			田中實	生田正輝
			田中實	田中實
			石川忠雄	中村菊男
			石川忠雄	今泉孝太郎
				前原光雄

- 船舶の敵性に關するフランス主義  
——第一次大戦の判例を中心として——
- 農民の法律性格  
中國憲法の基本的諸問題に關する一考察(一)  
——一九三三年以降の制憲論争を中心として——
- 政治心理學成立の現代的意義  
中國憲法の基本的諸問題に關する一考察(二)  
——一九三三年以降の制憲論争を中心として——
- 民法改正の意義(一)  
——日本資本主義の發展と身分法——
- アメリカ革命と新聞  
民法改正の意義(二)  
——日本資本主義の發展と身分法——
- 「大日本教育會」の法典論  
明治初年の民法草案  
社會革命期に於ける心理狀態  
エメリー・リーグズ「平和の解剖學」  
戦後の商法學界  
經濟統制法の考え方  
研究發表會記事  
輿論の統計的・狀態的分析

二十一卷  
號卷

論 說  
紹介と批評

伊東 菊男 乾  
中村 菊 乾  
伊東 東 乾

資 料

田中 實 夫  
高島 正 夫  
伊東 乾 郎

二十一卷  
號卷

論 說  
紹介と批評

生田 正 輝  
須藤 次 郎  
生田 正 輝

民事訴訟法  
法的主體からみた労働法  
初島の社會調査に關する中間報告(一)  
森長英三郎著「生産管理の法律問題」  
國際問題の展望  
現段階の國際連合  
大統領選舉を通じてみた諸政黨の政策  
民主黨の勝利

民法ノ一ト(二)

民法

商法

民事訴訟法

労働法

研究發表會記事

轉換期の外交

民法改正の意義(三・完)

日本資本主義の發展と身分法

二十一卷  
號卷

論 說

田中 實 熊  
内山 正 熊  
須藤 次 郎

資 料

高島 正 夫  
田中 實 夫  
伊東 乾 郎

二十一卷  
號

二十一卷  
號

論資  
說料

紹介と批評

資  
料

論記  
說料

石川忠雄

藤原守胤

生田正輝

中村菊男

高島正夫

伊東乾郎

須藤正次

高島正夫

及川恒忠

手塚豊

田中實

高島正夫

伊東乾郎

須藤次郎

國際問題の展望

中共の秋季政勢と民主連合政府

民法ノート(三)

氏法

西洋文明の基調精神

初島の社會調査に關する中間報告(二)

宮澤俊義著「民主制の本質的性格」

民法ノート(續・三)

商法

民事訴訟法

勞働法

シヤーマン法とrule of reason

「行憲國民大會」紀要

新律綱領編纂關係考

民法ノート(四)

民法

商法

民事訴訟法

勞働法